

東京外国語大学・研費基盤研究（B）「生命統治時代の〈オイコス〉再考とポスト・グローバル世界像の研究」主催／東洋大学・科研費研究スタート支援「破局の経験から共生の倫理へ」共催
国際ワークショップ

ギュンター・アンダースと核の問題

Comment, en pensant l'histoire comme un délai, Günther Anders propose une description de la « situation atomique » qui « ne vieillira jamais »

講演

クリストフ・ダヴィッド（レンヌ大学准教授）
「ギュンター・アンダースと核
—— 猶予期間としての歴史 ——」

ディスカッサント

西谷 修（東京外国語大学）
中山 智香子（東京外国語大学）

モデレーター

渡名喜 庸哲（東洋大学）

入場無料・登録不要

使用言語 フランス語・日本語（適宜通訳がつきます）

2013年10月31日（木） 17:30-19:30

東京外国語大学府中キャンパス総合文化研究所会議室

お問い合わせ tonaki@toyo.jp

